

第6章 調査間での共通質問

- 対象者別に比較分析すべき調査項目について、複数の調査間で共通で設定している。

1 地域生活の状況

- (1) 近所づきあいの状況（市民調査：問8，高齢者調査：問7，障害者調査（18歳以上）：問19，障害者調査（18歳未満）：問18）

あなたは、日ごろどのような近所づきあいをしていますか。（1つに○）

- 近所づきあいの状況は、高齢者と身体障害（65歳以上）で「家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている」が1割を超えている。なお、知的障害、精神障害では「家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている」と「立ち話をする程度のつきあいをしている」を合計してもそれぞれ1割未満であり、「近所づきあいをしていない」が3割を超えている。

図表 6-1 近所づきあいの状況（全体）

【市民調査，高齢者調査，障害者調査（18歳以上），障害者調査（18歳未満）】

		(%)				
		あど家 い、を を親行 ししき てく来 い近す る所 づな き	つ立 きち あ話 いを をす しる て程 い度 るの	るのあ つ い きさ あつ いを をす しる て程 い度	い近 な所 いづ き あ い を し て	無 回 答
市民調査 (N= 731)		7.4	22.7	50.5	19.2	0.3
高齢者調査 (N=1, 339)		14.2	40.6	33.8	9.3	2.2
（ 1 障 8 害 歳 者 以 調 上 査 ）	身体障害（64歳以下） (N= 236)	7.2	23.7	47.5	20.3	1.3
	身体障害（65歳以上） (N= 322)	10.2	33.9	33.2	15.8	6.8
	知的障害 (N= 179)	2.8	6.7	56.4	30.2	3.9
	精神障害 (N= 149)	2.7	5.4	49.7	38.3	4.0
	難病 (N= 200)	9.0	24.0	47.0	16.5	3.5
障害者調査（18歳未満の保護者） (N= 125)		8.0	30.4	48.8	11.2	1.6

(2) 近所づきあいをしていない理由（市民調査：問 8-1，高齢者調査：問 7-1，障害者調査（18 歳以上）：問 19-1，障害者調査（18 歳未満）：問 18-1）

近所づきあいをしていないと答えた方におたずねします。

近所づきあいをしていない主な理由は何ですか。（いくつでも○）

○ 近所づきあいをしていないと回答した人に、近所づきあいをしていない主な理由をたずねたところ、知的障害以外では「普段つきあう機会がないから」が最も多くなっており、知的障害では「その他（40.7%）」が最も多くなっている。次いで、2番目に多いのは、市民、身体障害（64 歳以下）では「仕事や学業、家事・育児などで忙しく時間がないから」、高齢者、精神障害、難病では「あまりかかわりをもたたくないから」、身体障害（65 歳以上）では「その他」、障害者（18 歳未満の保護者）では「引っ越してきて間もないから」となっている。

図表 6-2 近所づきあいをしていない理由（全体：複数回答）

<「近所づきあいをしていない」と回答した人>

【市民調査，高齢者調査，障害者調査（18 歳以上），障害者調査（18 歳未満）】

		(%)							
		間育仕 が児事 ななや いど学 かで業 ら忙、 し家 く事 時・	な引 いつ か越 らし てき て間 も	な普 い段 かつ らき あ う機 会が	い同 な世 い代 かの ら人 が 近 く に	かう 人の が合 近う く人 に・ い話 ない 合	ちあ たま くり な い か わ り を も	そ の 他	無 回 答
市民調査 (n= 140)		38.6	16.4	67.1	9.3	7.9	18.6	5.7	0.0
高齢者調査 (n= 124)		17.7	6.5	46.0	4.0	16.9	28.2	21.0	1.6
（1 8 歳 者 以 上 調 査）	身体障害（64歳以下） (n= 48)	31.3	8.3	56.3	12.5	22.9	25.0	14.6	0.0
	身体障害（65歳以上） (n= 51)	5.9	11.8	51.0	7.8	7.8	25.5	33.3	0.0
	知的障害 (n= 54)	13.0	5.6	35.2	18.5	16.7	14.8	40.7	0.0
	精神障害 (n= 57)	8.8	3.5	61.4	15.8	40.4	52.6	21.1	0.0
	難病 (n= 33)	24.2	9.1	75.8	12.1	15.2	39.4	15.2	0.0
障害者調査（18歳未満の保護者） (n= 14)		28.6	35.7	64.3	14.3	21.4	21.4	14.3	0.0

2 経済的な理由で困った経験

(1) 経済的な理由で困った経験の有無（市民調査：問 12，高齢者調査：問 9，障害者調査（18 歳以上）：問 13）

あなたは、過去 1 年間の間に、経済的な理由で次のような経験がありましたか。

(1) ~ (6) について、それぞれ 1 つに○をつけてください。

○ 経済的な理由で困った経験の有無について、「あった」と回答した割合は、精神障害が 6 つ中 4 つの項目で 1 割を超えて高くなっている。

図表 6-3 経済的な理由で困った経験の有無（全体）＜「あった」と回答した割合＞

【市民調査，高齢者調査，障害者調査（18 歳以上）】

		(%)					
		品食あ	価衣あ	代電	家賃	借金	け病
		を料な	を料な	等気	を賃	の返	な院
		除がた	除がた	の料	を滞	の済	かや
		く買や	く買や	未金	納納	滞滞	つ行
		え家	え家	払い	した	納した	たが
		ない族	ない族	いガ	こと	した	この
		こと必要	こと必要	ス料	こと	こと	たの
		と嗜す	と嗜す	金、電	こと	こと	が治
		好る	高る	話	こと	こと	った
							たの
							ため
							に
市民調査	(N= 731)	3.6	3.8	3.3	1.5	3.4	5.1
高齢者調査	(N=1, 339)	1.6	2.0	2.8	1.5	1.9	2.6
（18 歳以上）	身体障害（64歳以下） (N= 236)	6.8	5.5	5.9	3.8	4.2	3.0
	身体障害（65歳以上） (N= 322)	4.0	4.0	3.1	2.2	4.3	3.1
	知的障害 (N= 179)	2.8	1.7	1.7	0.6	2.8	0.6
	精神障害 (N= 149)	11.4	14.8	8.1	6.7	11.4	10.1
	難病 (N= 200)	3.0	3.5	3.0	2.5	3.5	2.5

○ いずれかの項目で「あった」と回答した経済的困窮の経験がある人は、市民が 9.4%，高齢者が 6.9%，身体障害（64 歳以下）が 13.1%，身体障害（65 歳以上）が 11.2%，知的障害が 3.9%，精神障害が 27.5%，難病が 7.5% となっており、精神障害が高くなっていることがわかる。

図表 6-4 経済的困窮の経験の有無（全体）

【市民調査，高齢者調査，障害者調査（18 歳以上）】

		(%)		
		経	経	無
		験	験	回
		あ	な	答
		り	し	
		困	困	
		窮	窮	
		の	の	
市民調査	(N= 731)	9.4	90.6	0.0
高齢者調査	(N=1, 339)	6.9	93.1	0.0
（18 歳以上）	身体障害（64歳以下） (N= 236)	13.1	86.9	0.0
	身体障害（65歳以上） (N= 322)	11.2	88.8	0.0
	知的障害 (N= 179)	3.9	96.1	0.0
	精神障害 (N= 149)	27.5	72.5	0.0
	難病 (N= 200)	7.5	92.5	0.0

3 地域活動等の状況

(1) 地域活動・ボランティア活動への興味・関心の有無，取組状況（市民調査：問15，高齢者調査：問11）

調布市では，さまざまな地域活動・ボランティア活動が行われています。

①次のような地域活動・ボランティア活動について，あなたは興味・関心がありますか。

②現在，次のような地域活動・ボランティア活動にあなたは取り組んでいますか。

(1)～(8)について，①と②のそれぞれ1つに○をつけてください。

① 地域活動・ボランティア活動への興味・関心の有無

- 地域活動・ボランティア活動について「興味がある」と回答した割合は，市民では『防災訓練や災害時に救援・支援をする活動 (58.3%)』が最も多く，『地域の環境美化，環境保全・自然保護などの活動 (50.6%)』が続いている。高齢者では『地域の環境美化，環境保全・自然保護などの活動 (42.2%)』が最も多く，『高齢者を支援する活動 (39.6%)』，『防災訓練や災害時に救援・支援をする活動 (38.7%)』が続いている。

図表 6-5 地域活動・ボランティア活動への興味・関心の有無（全体）

<「興味がある」と回答した割合>【市民調査，高齢者調査】

		(%)								
		活動	高齢者	障害	やエ	お祭	の交	援防	自然	ラ自
		る子	者	の	文シ	祭リ	通安	を災	域の	自治
		活育	を	あ	化シ	り	全安	す訓	環	会
		動、	支	る	を	や	を全	活練	境	・
		子	援	人	伝	運	守	や	美	地
		帯	す	を	え	動	る	犯	化、	区
		・	る	支	る	会	活	罪	の	活
		青	活	援	活	な	動	防	活	動
		少	動	す	動	ど	に	害	環	議
		年	す	る	の	の	救	時	境	会
		を	す	活	レ	レ	援	に	保	・
		P	す	動	ク	ク	・	支	全	老
		T	す	動	統	統	支	援	・	人
		A	す	動	リ	リ	支	・		ク
		の	す	動			支			
市民調査	(N= 731)	34.9	43.0	42.3	44.2	45.8	58.3	50.6	22.4	
高齢者調査	(N=1, 339)	20.3	39.6	30.6	28.0	34.1	38.7	42.2	33.1	

② 地域活動・ボランティア活動の取組状況

- 地域活動・ボランティア活動について「取り組んでいる」と回答した割合は、市民では『子育て世帯・青少年を支援する活動、子ども会やPTAの活動（10.3%）』、高齢者では『自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動（15.2%）』が最も多くなっている。

図表 6-6 地域活動・ボランティア活動の取組状況（全体）

<「取り組んでいる」と回答した割合>【市民調査，高齢者調査】

	子ども会やPTAの活動	子育て世帯・青少年を支援する活動	高齢者を支援する活動	障害のある人を支援する活動	地域文化を伝える活動	祭りや運動会などのレクリエーション活動	交通安全や犯罪防止など地域の交通安全を守る活動	防災訓練や災害時に救援・支援する活動	自然保護などの活動	地域の環境美化、環境保全	自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動
市民調査 (N= 731)	10.3	3.4	2.7	9.8	4.4	4.9	3.6	6.0			
高齢者調査 (N=1,339)	2.4	5.8	2.8	8.6	4.3	5.8	5.9	15.2			

(2) 地域活動・ボランティア活動への取組意向（市民調査：問16，高齢者調査：問12）

あなたは、今後、地域活動・ボランティア活動等に取り組んでいきたいと考えていますか。（1つに○）

- 地域活動・ボランティア活動への取組意向は、市民、高齢者ともに「積極的に、取り組んでいきたい」と「できるだけ、取り組んでいきたい」を合計しても1割前後であり、積極的に取り組みたいと考える人は多くない。しかし、「機会があれば、取り組んでもよい」の割合は、市民が4割台、高齢者が2割台となっており、市民では機会があれば取り組んでもよいと考える人が多いことがわかる。

図表 6-7 地域活動・ボランティア活動への取組意向（全体）

【市民調査，高齢者調査】

	積極的に、取り組んでいきたい	できるだけ、取り組んでいきたい	機会があれば、取り組んでもよい	取り組まない	あまり取り組むたく	無回答
市民調査 (N= 731)	1.1	9.2	43.0	20.5	19.6	6.7
高齢者調査 (N=1,339)	1.6	7.9	26.8	26.8	22.8	14.0

(3) 地域活動・ボランティア活動に取り組まない理由（市民調査：問 16-1，高齢者調査：問 12-1）

「取り組みたいが、できない」、「あまり取り組みたくない」と答えた方におたずねします。
 地域活動・ボランティア活動等に取り組まない理由は何ですか。（いくつでも○）

○ 地域活動・ボランティア活動について、「取り組みたいが、できない」、「あまり取り組みたくない」と回答した人に、取り組まない理由をたずねたところ、市民は「時間がないから」が6割台で飛びぬけて多くなっている。高齢者は「その他（41.7%）」が最も多く、「時間がないから（21.7%）」が続いている。

図表 6-8 地域活動・ボランティア活動に取り組まない理由（全体：複数回答）

＜「取り組みたいが、できない」、「あまり取り組みたくない」と回答した人＞

【市民調査，高齢者調査】

		興味のある活動がないから	活動に関する情報が少ないから	経済的負担が大きいから	介護・育児で忙しいから	メリツトを感じないから	時間がないから	きっかけがないから	人づきあいが面倒だから	興味がないから	地域にかかわりたくないから	その他	無回答
市民調査 (n= 293)		8.2	13.3	11.6	14.0	4.1	66.9	18.1	19.8	16.0	4.4	9.2	1.0
高齢者調査 (n= 664)		5.3	7.4	2.6	6.2	2.0	21.7	16.0	16.1	14.6	3.0	41.7	5.4

(4) 地域活動・ボランティア活動に参加しやすい条件（市民調査：問 17，高齢者調査：問 13）

どのような条件であれば、地域活動・ボランティア活動等に参加・活動しやすいと思いますか。（いくつでも○）

○ 地域活動・ボランティア活動に参加しやすい条件は、市民、高齢者ともに上位3つは「時間や期間にあまりしぼられない」、「身近なところに活動できる場があること」、「適切な指導者やリーダーがいること」となっている。

図表 6-9 地域活動・ボランティア活動に参加しやすい条件（全体：複数回答）

【市民調査，高齢者調査】

		子ども世代の世話や介護	活動内容や団体に関する情報を紹介して	友人等と一緒に行けること	時間や期間にあまりしぼられない	身近なところにある活動	適切な指導者やリーダーがいること	活動に参加すること	活動資金の補助や援助がある	その他	分からない	条件によらず、参加したくない	無回答
市民調査 (N= 731)		9.4	23.3	20.9	62.7	47.6	26.7	17.4	12.9	4.4	7.0	4.4	10.9
高齢者調査 (N=1,339)		2.2	12.7	11.8	37.4	31.3	18.6	4.0	5.0	5.0	9.2	9.9	25.2

(5) 市の福祉ボランティアの養成講座等の認知度、参加意向（市民調査：問 18，高齢者調査：問 14）

調布市では、次のような福祉ボランティアの養成講座を開催しています。

①あなたは、次のような養成講座をご存知でしたか。

②あなたは、今後次のような養成講座に参加したいと思いますか。

(1)～(3)について、①と②のそれぞれ1つに○をつけてください。

- 市の福祉ボランティアの養成講座等の認知度（「知っていた」の割合）は、市民に比べて高齢者の方が高くなっている。一方、参加意向は市民の方が高くなっている。

図表 6-10 市の福祉ボランティアの養成講座等の認知度（全体）

<「知っていた」と回答した割合>【市民調査，高齢者調査】

		（％）		
		い 人 の ガ イ ダ ン ス た	養 成 講 座 サ ポ ー タ ー	養 成 講 座 も サ リ さ ん タ ー
市民調査	(N= 731)	9.0	13.5	9.4
高齢者調査	(N=1, 339)	16.0	16.1	14.7

図表 6-11 市の福祉ボランティアの養成講座等への参加意向（全体）

<「参加したいと思っている」と回答した割合>【市民調査，高齢者調査】

		（％）		
		い 人 の ガ イ ダ ン ス た	養 成 講 座 サ ポ ー タ ー	養 成 講 座 も サ リ さ ん タ ー
市民調査	(N= 731)	13.3	12.6	12.3
高齢者調査	(N=1, 339)	9.8	10.6	11.9

Ⅱ アンケート調査の結果

(6) 身近な拠点の利用状況 (市民調査：問 19, 高齢者調査：問 15)

これまであなたが身近な活動拠点として利用している施設は、次のうちどこですか。(いくつでも○)

○ 身近な拠点の利用状況は、市民、高齢者ともに「図書館」が多くなっており、その割合は市民が約4割、高齢者は2割台となっている。次いで、市民は「文化会館たづくり (26.3%)」、「小学校・中学校 (15.2%)」、高齢者は「文化会館たづくり (24.3%)」、「地域福祉センター (16.4%)」が続いている。

図表 6-12 身近な拠点の利用状況 (全体：複数回答)

【市民調査, 高齢者調査】

		文化会館たづくり	地域福祉センター	総合福祉センター	市民活動支援センター	ふれあいの家	公民館	図書館	小学校・中学校	民間の施設	個人宅	その他	特にない	無回答
市民調査	(N= 731)	26.3	6.8	2.2	1.5	4.5	3.6	40.9	15.2	1.6	4.1	3.8	39.9	1.6
高齢者調査	(N=1, 339)	24.3	16.4	4.7	1.5	5.3	5.1	24.5	3.2	3.1	2.7	4.7	38.4	8.6

(7) 拠点の機能に関する希望 (市民調査：問 20, 高齢者調査：問 16)

あなたが身近な活動拠点に求める機能は、どのようなものですか。(3つまで○)

○ 拠点の機能に関する希望は、市民は「好きなときに自由に勉強や休憩等に使えるフリースペース」と「困ったことを何でも気軽に相談できる総合相談窓口」が3割台で多くなっている。高齢者は「困ったことを何でも気軽に相談できる総合相談窓口 (36.9%)」が最も多く、「好きなときに自由に勉強や休憩等に使えるフリースペース (22.4%)」が続いている。

図表 6-13 拠点の機能に関する希望 (全体：複数回答 (3つまで))

【市民調査, 高齢者調査】

		困ったことを何でも気軽に相談できる総合相談窓口	団体活動等で借りられる集会室等の部屋	好きなときに自由に勉強や休憩等に使えるフリースペース	いつでも誰かがいておしゃべりができる場所	地域の情報や集約・発信など、掲示板や情報誌の発行など	民活動のサポート	コピー機や貸し出しなど、市民活動のスペース等の市民活動の発表の場	その他	特にない	分からない	無回答
市民調査	(N= 731)	35.6	15.2	37.8	7.4	18.7	13.3	5.3	3.7	15.7	11.5	2.1
高齢者調査	(N=1, 339)	36.9	11.4	22.4	14.1	11.3	4.9	3.0	2.5	27.3	6.6	9.0

4 住民参加の地域づくり

(1) 地域で支え合っているとよいこと（市民調査：問24，高齢者調査：問17）

あなたが、地域で支え合っているとよいと思うことは、次のうちどのようなことですか。
（3つまで○）

○ 地域で支え合っているとよいことは、市民は「パトロールや登下校時の子どもの見守りなどの防犯・安全対策（45.8%）」が最も多く、「避難訓練や防災マップの作成，自主防災組織等の防災・災害対策（38.2%）」が続いている。高齢者は「電球交換や買い物支援など，日常のちょっとした困りごとへの支援（24.7%）」が最も多く、「いつでも気軽に立ち寄ってお話やお茶を楽しめる，地域の居場所作り（22.9%）」が続いている。なお，高齢者は「特にない」が2割台後半であり，市民に比べて高くなっている。

図表 6-14 地域で支え合っているとよいこと（全体：複数回答（3つまで））

【市民調査，高齢者調査】

		(%)										
		ち電 よ球 つ交 と換 し た 買 困 り 物 支 援 な ど 、 日 常 の	お 茶 を 楽 し め る 、 立 ち 寄 つ て お 話 や り	防 避 災 難 組 織 等 の 防 災 マ ツ プ の 作 成 、 自 主	守 パ リ な ど の 防 犯 ・ 登 下 校 時 の 子 ど も の 見	地 域 住 民 同 士 の 訪 問 ・ 見 守 り 活 動	り 悩 み 事 の 相 談 や 共 有 が で き る 場 づ く	地 域 の 清 掃 や 環 境 保 護 活 動 な ど、	動 地 域 の 歴 史 ・ 文 化 や 伝 統 を 伝 え る 活	そ の 他	特 に な い	無 回 答
市民調査	(N= 731)	22.7	19.6	38.2	45.8	12.2	14.8	25.2	10.3	1.5	13.0	3.1
高齢者調査	(N=1, 339)	24.7	22.9	15.2	17.0	9.6	11.7	16.4	8.6	2.4	27.1	9.4

5 災害時の対応

(1) 災害時に向けて普段から地域のためにしていること、できること（市民調査：問26，高齢者調査：問31）

災害が起きたときに向けて，地域での取組が求められています。

①あなたが普段から地域のためにしていることはありますか。

②今後できることはありますか。

(1)～(10)について，①と②のそれぞれ1つに○をつけてください。

- 災害時に向けて普段から地域のためにしていること（「している」と回答した割合）は，市民，高齢者ともに上位2つは『家庭内での災害への備え』，『地域の防災マニュアルや防災マップの確認』となっている。市民と高齢者で差がある項目は『近隣同士の声かけや安否確認』，『自治会などの地域の集まりへの参加』であり，どちらの項目も高齢者が3割前後であるのに対し，市民は1割台となっている。
- 今後できること（「できる」と回答した割合）は，していることと同じく，市民，高齢者ともに上位2つは『家庭内での災害への備え』，『地域の防災マニュアルや防災マップの確認』となっている。

図表 6-15 災害時に向けて普段から地域のためにしていること（全体）

<「している」と回答した割合>【市民調査，高齢者調査】

	否	近隣同士の声かけや安	自治会などの地域の集	自主防災組織への参加	地域の防災訓練への参	地域の防災マップの確認	防災講習会や学習会へ	けちよつとした日常の助	ポランティス活動のや	え家庭内での災害への備	の災害時の情報入手手段	その他
市民調査 (N= 731)	13.5	12.9	5.1	8.8	39.5	5.1	7.4	47.3	27.9	0.1		
高齢者調査 (N=1, 339)	30.1	27.8	11.4	16.4	48.8	8.7	11.7	57.2	29.8	0.9		

図表 6-16 災害時に向けて今後できること（全体）

<「できる」と回答した割合>【市民調査，高齢者調査】

	否	近隣同士の声かけや安	自治会などの地域の集	自主防災組織への参加	地域の防災訓練への参	地域の防災マップの確認	防災講習会や学習会へ	けちよつとした日常の助	ポランティス活動のや	え家庭内での災害への備	の災害時の情報入手手段	その他
市民調査 (N= 731)	40.9	22.3	17.5	30.0	62.7	25.6	31.2	70.5	59.6	2.3		
高齢者調査 (N=1, 339)	43.8	32.4	21.1	28.1	50.5	25.9	28.3	58.5	40.8	2.5		

(2) 避難所で必要だと思う支援（障害者調査（18歳以上）：問22，障害者調査（18歳未満）：問22）

あなたにとって、地震などの災害が発生したときに、避難所において必要と思われる支援は何ですか。（いくつでも○）

- 避難所で必要だと思う支援，身体障害（64歳以下），精神障害，難病では「医療や医薬品の確保」，身体障害（65歳以上）では「段差がない，使いやすいトイレなどの施設のバリアフリー」，知的障害，障害者（18歳未満の保護者）では「個室，間仕切り（パーティション）などでの対応が可能であること」が最も多くなっている。

図表 6-17 避難所で必要だと思う支援（全体：複数回答）

【障害者調査（18歳以上），障害者調査（18歳未満）】

			(%)													
			の段差がない、使いやすいトイレなど	が文字や音声など複数の情報伝達手段	の確保	手話などのコミュニケーション手段	個室、間仕切り（パーティション）などでの対応が可能であること	相談窓口や介助スタッフがいること	アレルギー対応食や介護食、離乳食などの確保	医療や医薬品の確保	配給などに並ぶことができない場合	他の避難者の障害への理解	その他	特になし	分からない	無回答
（18歳以上調査）	身体障害（64歳以下）	(N= 236)	45.3	26.3	12.3	47.0	35.6	8.9	53.4	40.7	41.9	3.4	6.8	5.1	3.8	
	身体障害（65歳以上）	(N= 322)	56.2	27.0	4.3	46.3	36.6	5.9	51.9	44.1	25.5	3.7	6.5	5.9	7.1	
	知的障害	(N= 179)	26.3	19.0	4.5	52.5	50.3	7.8	41.3	48.0	50.3	7.3	5.0	7.8	3.9	
	精神障害	(N= 149)	24.8	23.5	4.7	54.4	47.0	12.1	67.1	30.2	43.0	6.7	2.0	8.7	2.7	
	難病	(N= 200)	43.5	25.0	2.5	56.0	38.5	9.5	66.5	40.5	24.5	7.0	4.5	1.5	4.0	
障害者調査（18歳未満の保護者）			(N= 125)	16.0	33.6	0.0	68.0	48.8	8.8	41.6	55.2	67.2	12.0	3.2	4.0	0.0

6 福祉のまちづくり

(1) バリアフリー化の状況（市民調査：問 30，高齢者調査：問 32，障害者調査（18歳以上）：問 23，障害者調査（18歳未満）：問 23）

現在、調布市の建築物や公共交通機関、情報案内、公園や道路などについて、障害のある人や妊婦、子どもづれ、高齢者、外国人等が利用しやすいように整備されていると思いますか。
 (1)～(11)について、それぞれ1つに○をつけてください。

- バリアフリー化の状況について、「整備されている」と「やや整備されている」の合計の割合は、市民と最も差があるのは身体障害（65歳以上）であり、『車いすの方やだれもが安全に通れる建物の出入口や通路（段差をなくす、幅を広げる）』、『公共施設や病院等のスロープ、エレベーターやエスカレーター』、『車いすの方や乳幼児を連れた方などだれもが使いやすいトイレ』、『車いすやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス』、『障害者用の駐車場』で市民が身体障害（65歳以上）を15ポイント以上上回っている。
- 全体の『①～⑩や公園、道路などを含むまち全体のユニバーサルデザイン』の割合は、精神障害で3割を超え高く、高齢者で1割台で低くなっている。

図表 6-18 バリアフリー化の状況（全体）

<「整備されている」と「やや整備されている」の合計の割合>

【市民調査，高齢者調査，障害者調査（18歳以上），障害者調査（18歳未満）】

		建築物			道路・交通機関等			情報案内など			全体		
		出① 入口 やす 通 路 の 方 や だ れ も が 安 全 に 通 れ る 建 物 の 幅 を 広 げ る	タ② ー 公 共 施 設 や ス カ レ ー タ ー の ス ロ ー プ 、 エ レ ベ ー	が③ 使 い やす い 方 や 乳 幼 児 を 連 れ た 方 な ど だ れ も	凹④ 凸 が 少 な く 電 柱 に 等 の 幅 が 取 り 除 か れ 、 道 路 の 段 差 や	⑤ 点 字 ブ ロ ツ ク や 視 覚 障 害 者 用 の 信 号 機	バ⑥ ス や リ フ ト 付 バ ス 、 ベ ー ビ ー カ ー で 乗 降 し やす い 超 低 床	⑦ 障 害 者 用 の 駐 車 場	が⑧ わ か り やす い 文 字 、 絵 、 複 数 の 言 語 を 用 いた 誰 も	声⑨ ガ イ ド の 施 設 が 配 置 さ れ て いた り 、 音	ス⑩ ト ラ ン ク の 同 伴 者 の 入 室 が 配 慮 さ れた 店 ・ レ	ニ① ー サ ル デ ザ イ ン 、 公 園 、 道 路 な ど を 含 む ま ち 全 体 の ユ	
市民調査	(N= 731)	49.0	69.3	58.7	23.7	43.9	54.8	49.4	30.0	17.4	14.4	20.4	
高齢者調査	(N=1,339)	35.3	55.1	41.8	21.5	35.6	42.8	32.6	20.9	8.7	7.2	12.3	
(18歳以上) 障害者調査	身体障害（64歳以下）	(N= 236)	44.5	65.7	55.5	24.6	40.7	45.8	39.5	23.7	18.6	14.0	21.2
	身体障害（65歳以上）	(N= 322)	32.0	53.7	39.5	24.8	35.5	35.1	31.4	24.2	13.1	9.0	19.8
	知的障害	(N= 179)	47.5	65.4	54.2	30.2	44.7	53.6	43.0	31.3	23.4	15.6	25.2
	精神障害	(N= 149)	50.4	65.7	53.7	33.6	45.0	53.0	43.0	36.2	24.2	23.5	31.6
	難病	(N= 200)	35.5	62.0	50.0	22.0	36.0	46.0	39.0	24.5	16.5	13.0	23.5
障害者調査（18歳未満の保護者）	(N= 125)	64.0	82.4	75.2	28.8	45.6	61.6	57.6	37.6	26.4	19.2	28.0	

7 地域社会に対する考え方

(1) 地域で福祉サービスの利用に結びついておらず困っている人の有無（市民調査：問 28，高齢者調査：問 33）

あなたを含め、地域において支援が必要であるにもかかわらず、福祉サービスの利用に結びついていない人がいますか。（1つに○）

- 地域で福祉サービスの利用に結びついておらず困っている人の有無は、市民、高齢者ともに「いる」が4%程度となっている。

図表 6-19 地域で福祉サービスの利用に結びついておらず困っている人の有無（全体）
【市民調査，高齢者調査】

		(%)			
		い る	い な い	分 か ら な い	無 回 答
市民調査	(N= 731)	4.0	21.6	69.2	5.2
高齢者調査	(N=1, 339)	4.3	10.3	76.5	8.9

(2) 共生社会の実現状況の実感（市民調査：問 29，高齢者調査：問 35，障害者調査（18歳以上）：問 27，障害者調査（18歳未満）：問 27）

「すべての人々が年齢や障害の有無によって分け隔てられることなく、互いの人格と個性を尊重しあいながら共生する社会（共生社会）を目指す」という考え方について、調布市では市民に理解され、浸透していると思いますか。（1つに○）

○ 共生社会の実現状況の実感は、「理解され、浸透している」と「どちらかといえは、理解され、浸透している」の合計の割合は、市民が 16.4%で最も低く、身体障害（65歳以上）、精神障害では3割を超え高くなっている。

図表 6-20 共生社会の実現状況の実感（全体）

【市民調査，高齢者調査，障害者調査（18歳以上），障害者調査（18歳未満）】

		(%)						
		い理解され、浸透して	い理解され、浸透して、どちらかといえは、	浸透して、どちらかといえは、	浸透して、どちらかといえは、	分からない	無回答	
市民調査	(N= 731)	0.8	15.6	29.8	13.0	37.9	2.9	
高齢者調査	(N=1, 339)	1.9	18.4	26.1	9.1	36.8	7.7	
（18歳以上調査）	身体障害（64歳以下）	(N= 236)	2.1	26.3	30.5	8.9	26.3	5.9
	身体障害（65歳以上）	(N= 322)	5.3	30.4	17.1	6.2	32.3	8.7
	知的障害	(N= 179)	4.5	22.9	25.7	8.9	28.5	9.5
	精神障害	(N= 149)	6.0	27.5	24.2	16.8	23.5	2.0
	難病	(N= 200)	2.0	15.5	26.5	9.0	39.5	7.5
障害者調査（18歳未満の保護者）	(N= 125)	0.0	27.2	39.2	19.2	12.8	1.6	

8 介護や認知症への考え方

(1) 認知症のイメージ（市民調査：問 32，高齢者調査：問 27）

あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。最も近いと思うものをお答えください。（1つに○）

- 認知症のイメージは、市民では「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる（44.2%）」が最も多く、高齢者では「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける（36.2%）」が最も多くなっている。

図表 6-21 認知症のイメージ（全体）

【市民調査，高齢者調査】

		(%)					
		地域で、今までのどおり、自立的に生活できたり	たポ認 地！知 域ト症 でをにな 活用しつ してなが いけら、 医療・ 今ま介 で護な 暮らし のサ てき	すく認 るなり こと、 が介 必要施 に設 にな る	てに認 きた迷 地惑を 域か でけ で生 活し すま うの こと が難 しく なる	も認 でき な く な る と、 症 状 が 進 行 し て ゆ き、 何	無 回 答
市民調査	(N= 731)	3.7	32.6	44.2	7.5	7.5	4.5
高齢者調査	(N=1, 339)	12.8	36.2	24.9	4.0	10.3	11.9

(2) 求める認知症施策（市民調査：問 33，高齢者調査：問 29）

調布市の認知症施策でこれから必要だと思うことは次のどれですか。（いくつでも○）

- 求める認知症施策は、市民は「家族の身体的・精神的負担を減らす取組（73.3%）」が最も多く、「家族の仕事と介護の両立支援を含めた、経済的負担を減らす取組（62.2%）」が続いており、家族に関することが上位となっている。高齢者は「認知症の人が利用できる介護施設の充実（52.6%）」が最も多く、「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり（48.8%）」が続いている。

図表 6-22 求める認知症施策（全体：複数回答）

【市民調査，高齢者調査】

(%)

	も市民に認知症のための正しい知識と理解を	充認知症のことを相談できる窓口・体制の	どできるサポートを早い段階から、医療・介護な	家族の身体的・精神的負担を減らす取組	経済的負担を減らす取組	家族の仕事と介護の両立支援を含めた、	認知症の人を地域で見守る体制の充実	日常生活の中で必要となる財産管理など	への支援の充実	止するため詐欺的な勧誘による被害を防	悪質商法や詐欺的な勧誘による被害を防	認知症の人が利用できる介護施設の充実	その他	特にな	無回答
市民調査 (N= 731)	38.6	54.7	62.1	73.3	62.2	32.3	20.7	36.5	56.4	2.2	0.7	2.2			
高齢者調査 (N=1, 339)	30.3	45.8	48.8	44.7	25.5	26.7	12.2	19.6	52.6	1.7	4.4	6.6			

(3) 介護者に必要な支援（市民調査：問34，高齢者調査：問26）

介護者支援策として、あなたが必要だと思うことは次のどれですか。（いくつでも○）

- 介護者に必要な支援は、市民は「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」、「介護者が仕事と介護の両立ができる支援制度、再就職支援施策」が5割台で多くなっている。高齢者は「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり（37.7%）」が最も多く、「介護者に対する定期的な情報提供（29.1%）」が続いている。

図表 6-23 介護者に必要な支援（全体：複数回答）

【市民調査，高齢者調査】

		(%)												
		介護者に対する定期的な情報提供	介護者が気軽に休息がとれる機会づくり	リフレックスなどの機会提供	電話や訪問による相談サービス	場本人や介護者が集まって話せる	家族会や介護者の自助グループ	在宅介護者への手当	介護休業取得者のいる企業への支援制度	介護者が仕事と介護の両立ができる支援制度、再就職支援施策	介護者の経験を活かした介護問題への発言の場づくり	その他	特にない	無回答
市民調査	(N= 731)	43.5	58.5	19.8	41.9	38.0	24.4	44.7	29.3	55.4	18.2	2.1	1.9	2.3
高齢者調査	(N=1, 339)	29.1	37.7	15.2	26.4	19.1	6.9	23.9	6.7	22.8	8.5	1.6	18.3	11.5

9 障害のある人の地域生活

(1) 障害者差別解消法の認知度（市民調査：問 35，高齢者調査：問 34，障害者調査（18歳以上）：問 24，障害者調査（18歳未満）：問 24）

平成 28 年 4 月から、「障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）」が施行されました。

あなたは、「障害者差別解消法」について、どの程度知っていましたか。（1つに○）

- 障害者差別解消法の認知度は、「内容も含めて知っている」の割合は、障害者（18歳未満の保護者）で3割超，身体障害（64歳以下）で1割台，他では1割未満となっている。

図表 6-24 障害者差別解消法の認知度（全体）

【市民調査，高齢者調査，障害者調査（18歳以上），障害者調査（18歳未満）】

			い 内 容 も 含 め て 知 っ て	な い 法 律 名 程 度 は 知 ら て	全 く 知 ら な い	無 回 答
市民調査 (N= 731)			9.7	28.9	58.8	2.6
高齢者調査 (N=1, 339)			5.3	39.8	47.1	7.8
1 8 歳 者 以 上 調 査	身体障害（64歳以下） (N= 236)		16.5	38.6	40.3	4.7
	身体障害（65歳以上） (N= 322)		5.9	37.9	47.8	8.4
	知的障害 (N= 179)		8.4	33.5	49.7	8.4
	精神障害 (N= 149)		8.1	37.6	51.0	3.4
	難病 (N= 200)		6.0	38.0	50.0	6.0
障害者調査（18歳未満の保護者） (N= 125)			31.2	48.0	20.8	0.0

(2) 障害を理由に差別を受けたり、偏見を感じたりすることの有無（障害者調査（18歳以上）：問25，障害者調査（18歳未満）：問25）

あなたは、障害を理由に差別を受けて嫌な思いをしたり、偏見を感じたりすることがありますか。（1つに○）

- 障害を理由に差別を受けたり、偏見を感じたりすることの有無について、「よくある」と「ときどきある」を合計した割合は、精神障害、障害者（18歳未満の保護者）で3割を超えて多くなっている。

図表 6-25 障害を理由に差別を受けたり、偏見を感じたりすることの有無（全体）

【障害者調査（18歳以上），障害者調査（18歳未満）】

			よくある	ときどきある	あまりない	全くない	分からない	無回答
								(%)
（18歳以上調査）	身体障害（64歳以下）	(N= 236)	4.2	13.1	40.3	25.8	10.2	6.4
	身体障害（65歳以上）	(N= 322)	1.2	3.7	35.7	38.2	10.6	10.6
	知的障害	(N= 179)	3.9	19.0	34.6	10.6	19.0	12.8
	精神障害	(N= 149)	9.4	25.5	30.9	12.1	16.1	6.0
	難病	(N= 200)	0.0	5.5	31.5	38.0	15.5	9.5
障害者調査（18歳未満の保護者）		(N= 125)	8.8	25.6	48.0	9.6	4.8	3.2

10 調布市の医療

(1) 調布市の医療をよりよくするために必要だと思うこと (市民調査：問 40, 高齢者調査：問 22, 障害者調査 (18 歳以上)：問 33, 障害者調査 (18 歳未満)：問 34)

調布市の医療をよりよくするために何が重要だと思いますか。(いくつでも○)

○ 調布市の医療をよりよくするために必要だと思うことは、市民では「救急医療の充実 (48.8%)」、高齢者では「在宅医療の普及 (35.5%)」、身体障害 (64 歳以下)、身体障害 (65 歳以上)、知的障害、精神障害、難病、障害者 (18 歳未満の保護者) では「地域の中で完結できる医療体制」が最も多くなっている。

図表 6-26 調布市の医療をよりよくするために必要だと思うこと (全体：複数回答)

【市民調査, 高齢者調査, 障害者調査 (18 歳以上), 障害者調査 (18 歳未満)】

		(%)											
		医療体制の中で完結できる	地域の中で完結できる	在宅医療の普及	救急医療の充実	かかりつけ医の普及	専門医療の充実	医療情報の提供	医療に関する市民教育	健康に関する自己管理の向上	その他	特にない	無回答
市民調査 (N= 731)		45.0	28.2	48.8	39.3	8.5	7.8	4.8	23.9	4.1	4.8	3.0	
高齢者調査 (N=1, 339)		33.8	35.5	31.4	27.6	7.6	4.7	2.2	24.8	3.5	13.7	8.6	
(18 歳以上)	身体障害 (64歳以下) (N= 236)	39.8	28.8	37.7	32.2	14.0	11.4	3.8	24.2	3.4	12.7	3.8	
	身体障害 (65歳以上) (N= 322)	39.4	34.8	37.0	29.5	7.1	4.7	0.9	22.0	2.8	9.9	12.4	
	知的障害 (N= 179)	38.5	17.9	32.4	33.5	13.4	8.4	2.8	16.2	7.3	12.3	10.6	
	精神障害 (N= 149)	42.3	22.8	30.9	36.2	16.8	18.1	9.4	34.2	10.7	10.1	5.4	
	難病 (N= 200)	41.5	30.5	41.0	30.0	9.0	6.0	2.5	22.0	3.0	8.0	11.0	
障害者調査 (18歳未満の保護者) (N= 125)		52.8	16.8	35.2	25.6	16.8	4.0	3.2	12.0	9.6	11.2	2.4	